

＊
北海道の味を満喫
盛り上がった 交流会
＊

北海道の大自然からとれた名産がずらりと並べられた立食スタイルの会場では、しかも新鮮な料理を日によって変えた後、ゆづりりと舌で味わうという楽しい交流会となりました。大人は北海道限定販売「サッポロ

お腹が満ちたところから、北海道にちなんだ曲のイントロクイズ大会が始まりました。賞品は、定番、白い恋人。をはじめとする「北の銘菓詰め合わせセツ



分科会会場から移動し、ホテルサンルートニューヨークにて行われた交流会。北海道については、「北の国から」ということで、おなじみのデーモンズと共



遊びに夢中の子どもたち。男性に近づけなくてはならない」という現状も報告されました。放送に携わる一人ひとりが、何をと

心のデトックスしませんか？
メンタルヘルス

専用のボトルを作りまし
た。そして、一日にその
効果を一人与り換え、暫
しかりとした感はなく
とも、よく眠れた。目覚め
がよくなった。行動や表情
になったようにでした。

自分らしく生きるための
コミュニケーションスキルを
身につけませんか？

＊分科会④＊
ちよつと待った！
刷り込まれているその表現に
イエローカート！

「一日はアリアリテラのCMを使ったスティーラリテラという教材をもとに、表現に含まれるイメージ・視点などについて議論しました。」

「二日は講師に武蔵大学教授の小玉美恵子さんをお迎えして、実際の公共広告のポスターを使った講義を行ないました。単に「女だてら」「女医」などという言葉に気づいただけでは

なく、「男性が主体で女性を客体」「権力者分業」といったスティーラリテラの表現が映像に含まれていないのかなど、さまざまな観点からみるのが必要とのこと。しかしながら、その放送を拒むべき現場は、未だに女性が圧倒的少数であり、ほとんどの決定権を握っておらず、逆に「買収して



ヲンをはかるコツを、高校
 美恵さん（札幌国際大学
 短期学非常勤講師）をお
 招きして学びました。
 ゲーム形式で今の自分が
 どんなことに価値を置き、
 どんなことを要求してい
 るのかまずは把握。その後
 自分の要求を満たすために
 行動することは、自分自身
 を真実に表現していくこ
 と、さらに他者の対応
 の場面でも、相手と対して
 共感することが必要だとい
 うことも学びました。この
 分科会は、いわゆる座学
 ではなく、シミュレーショ
 ンをする中で実践の場が
 あり、楽しく、感銘深く学
 べました。自分をとして人
 生そのものを、見つめ直す
 良い機会になりました。